

ブラジルのクリスマス

問合先 自治振興課 (☎429-9174)

ブラジルではクリスマスは祝日で、12月25日に祝います。これはイエス・キリストの誕生を記念する、キリスト教の最も大切な行事の一つです。

クリスマスには、プレゼント交換、クリスマスツリーの飾りつけ、クリスマスディナーなど、



◀クリスマスディナー

さまざまな伝統行事があります。多くの家族は、教会で24日の夜に行われる「ミサ・ド・ガロ」に参加した後みんなでクリスマスディナーを楽しみます。

クリスマス料理は地域によって違いますが、ターキー、チキン、ハム、レーズン入りご飯、ファロファ（キャッサバ粉料理）、ラバナード（揚げパンのお菓子）などをよく食べます。

家や町内はクリスマスツリー、イルミネーション、馬小屋の飾りで彩られます。子どもたちは25日の朝、プレゼントをもらうため、サンタクロースの訪れをすごく楽しみに待っています。ブラジルではクリスマスが夏の時期にあたるため、北半球のような冬のクリスマスとは雰囲気が違います。

ブラジルのクリスマスは信仰、家族の絆、食事の分かち合い、そして文化的な祝いが一体となった特別な日なのです。

▶町内の飾りつけと母



今月のポルトガル語

- Missa do Galo (ミサ・ド・ガロ)：夜半のミサ
- Feliz Natal (フェリス・ナターウ)：メリークリスマス
- Papai Noel (パパーイ・ノエウ)：サンタクロース

◀国際交流員のナタリア



●カセットボンベは、使用していきなくても製造から長期間経過したり、保管環境が適切でなかったりすると、内部パッキンの劣化によりガス漏れの危険があります。使用の目安は製造後約7年です。

【ひんやアドバイス】

カセットボンベを災害に備えてまとめて購入したが使用期限切れになった。未使用のカセットボンベが複数ある。どうしたらよいのか。(60歳代)

【事例2】

カセットボンベを災害に備えてまとめて購入したが使用期限切れになった。未使用のカセットボンベが複数ある。どうしたらよいのか。(60歳代)

【事例1】

最近ガス代が高いので、カセットコンロを使うおうちです。阪神淡路大震災の頃に購入したカセットボンベを使用したところ、ガスが漏れていて、火を噴いた。(80歳代)



古いカセットボンベの取り扱いに注意

製造年月日を確認するとともに、表示のないものや、変形・さびのあるものは使わないようにしましょう。

●災害用に備蓄しているものは、経年に応じて使い切り、新しいものを補充しましょう。

●空になったカセットボンベは、住んでいる自治体のルールに従って廃棄しましょう。

●ガスが残っていたり、処分方法が分からない場合は、製造事業者または、(一社) 日本ガス石油機器工業会のカセットボンベお客様センター(☎0120-14-9996)へ確認しましょう。



▲イラスト：黒崎 玄

参考…(独)国民生活センター「見守り新鮮情報第502号」

困った時は、消費生活センターにご相談ください。